

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月21日更新

事務事業名	みどり館維持管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	健康福祉部	課長名	花田 秀樹
	施策	2 行政改革の推進	所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	12 公共財産の管理運営	所属班	介護保険班	(内線)	1163
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 5	事業連番 10433	根拠法令 合志市福祉センターみどり館条例・同施行規則 指定管理協定書・年度協
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>○平成14年4月 保健福祉及び健康の増進並びに教養文化の向上を図るための施設として開館した。以来、入浴施設・多目的室を中心に市民の教養娯楽施設として、また一般高齢者サービス(閉じこもり予防)事業やがん検診会場として、さらに周辺地域住民の公民館として利用されているが、入浴施設については、レジオネラ属菌の検出により平成30年9月に廃止となった。</p> <p>○平成21年5月～22年3月 温泉源からレジオネラ菌が検出されたため温泉管の切離し工事を行い温泉水の利用を止め、この間休館した。平成30年1月 レジオネラ属菌検出により、利用を中止。</p> <p>○平成23年4月 入館(入浴)料金の市内200円を100円に引下げた。※市外400円、その他の室の使用料は据置き。</p> <p>○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～28年度)、第4期(平成29～30年度)</p> <p>○令和2年4月 生涯学習施設へ移行</p>
【業務の流れ】	<p>【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法) ○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認) ○50万円を超える修繕費負担等の協議 ○指定管理料の支払(四半期毎)</p> <p>【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部一議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結</p>
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)
【意見や要望】	大広間及び浴室部分の今後の活用方法について、住民の方より意見があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	○指定管理者(市社協)に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
○機能訓練室・玄関ホール照明器具取替及び駐車場看板設置に伴う費用を負担し、施設の適正な維持管理に努めた。		生涯学習施設へ移行
○市民センターへの移行に向けて関係課と協議を行った。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 指定管理料		生涯学習施設への移行に伴う委託料の減
イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(利用者)		(単位) 人
		→ ア: 利用者数
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
不都合なく安全に利用してもらう		(単位) %
		→ ア: 施設・サービス等について満足と答えた割合
		イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
利用者アンケート(施設・サービスに対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 千円	22,500	22,500	17,800	17,964	0	0	0	0
	イ								
② 対象指標	ア 人	36,270	22,303	21,000	22,378	0	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア %	100	98	95	100	0	0	0	0
	イ								
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	25,388	22,500	19,507	19,590			
	(A) 事業費計	千円	25,388	22,500	19,507	19,590	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	0	0
延べ業務時間	時間	300	340	120	450	0	0	0	
(B) 人件費計	千円	1,186	1,340	478	1,783	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	26,574	23,840	19,985	21,373	0	0	0	

事務事業名	みどり館維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和2年4月より、市民センターへ移行。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 令和2年4月より、市民センターへ移行。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和2年4月より、市民センターへ移行。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市民センターへの移行に伴い、令和2年度以降の予算措置等は所管課の生涯学習課で行う。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市民センターへの移行に伴い、令和2年度以降の予算措置等は所管課の生涯学習課で行う。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 令和2年4月より、市民センターへ移行。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 令和2年4月より、市民センターへ移行。

3 評価結果の総括 (CHECK)

市民センターへ移行するため、関係各課との協議や「合志市福祉センターみどり館条例」の廃止を行った。利用者へは、ポスター掲示等により周知し、利用料免除対象団体を対象に説明会を開催した。説明会で得た意見・要望等は、市民センター移行後もスムーズに活用できるよう、対応について検討を行った。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月より臨時休館とした。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					